

SENDAI Lifestyle



特集 仙台の技能実習生



インタビュー 仙台で働きながら技術・技能を学ぶ若者たち
ベトナム人技能実習生座談会

多文化SENDAI ライフ・アテンド みやぎ (LAM)

外国につながる子どもたち 仙台市立幸町小学校 (その1)

コラム 仙台ではたらく / 子育て in せんだい / 留学生サポートの現場から

C I R 通信 多文化共生講座 / ありがとう仙台!

SenTIA

Sendai Tourism, Convention and International Association

(公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) 国際化事業部は、言葉や習慣の異なる外国人住民や外国にルーツを持つ人々と暮らす「多文化共生」のまちづくりのため、さまざまな事業を行っています。

WEBサイト



Twitter



Facebook





特集

仙台の技能実習生

1993年に誕生した「技能実習制度」。この制度について耳にしたことがある方は多いのではないのでしょうか？開発途上国等の人材育成を目的とし、外国人に日本の技術や知識を学んでもらい、母国の発展のために活躍してもらう制度です。今回は、仙台の受入事業所で実習する外国人の様子をお伝えします。

技能実習生の現状

日本で働く外国人は、コロナ禍にもかかわらず、令和3年度に172万7千221人と最多となりました。令和3年度末の在留外国人は276万635人で、その60%以上が日本で働いています。

そして、その20.4%にあたる35万1千788人が技能実習生です(図1)。コロナ禍による入国制限のため、技能実習生の人数は前年と比べると5万人以上減少しましたが、この春からの入国制限の緩和により、今後は再び増加に転じるものと考えられます。

技能実習生を国籍別にみると、ベトナムが最も多く20万2千218人で、技能実習生数の57.5%を占めています。次いで、中国、インドネシアの順となっています。(図2)

仙台には1万2千392人の外国人が暮らしており、他地域に比べ人数は多くはないものの、そのうちの593人が技能実習生となります。(令和4年4月末現在)仙台でも、その約56%がベトナム人出身者です。(図3)仙台の技能実習生の生活について、受入事業所である日本ホーム株式会社、

介護老人保健施設コスモスの担当者にお話を伺いました。

仙台の受入事業所

日本ホーム株式会社では、67名の外国人が働いており、1名を除き全員がベトナム人です。そのうち19名が技能実習生です。彼らは総じて温和で真面目な上、中にはとても体力がある人もいて、2015年には社長自らベトナムを訪れ3名を採用したそうです。その後、留学生などからも社員を採用し、現在の67名という外国人スタッフ数に上りました。

建設業は危険も伴うことから、正確なコミュニケーションが求められます。そこで、会社では独自に日本語講座を週4日開設しています。ベトナム人実習生や社員は、初級・中級・上級のクラス別に日本語講師から学んでいます。日本語を身につけることで業務上だけでなく、生活上の幅も広がります。また、帰国後には日系企業への就職などの可能性も広がるので、それを目標に頑張っている実習生もいます。

社長は、ベトナム人スタッフに、将来は母国や日本で建設会社を立ち上げ、活躍し

図1 全国における在留資格別の外国人労働者数と割合 (令和3年10月末現在)

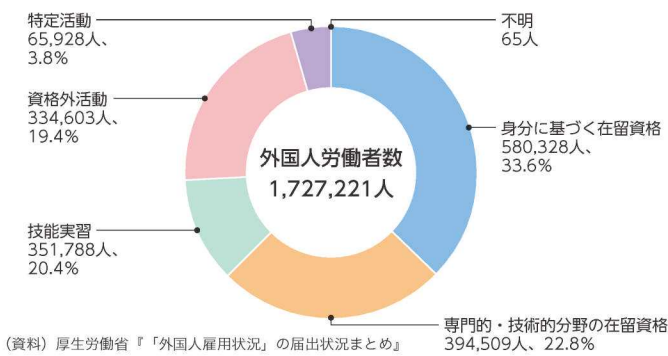


図2 全国における国籍別の技能実習生数と割合 (令和3年10月末現在)

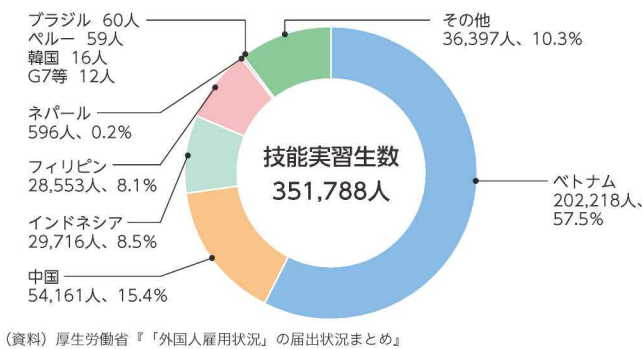
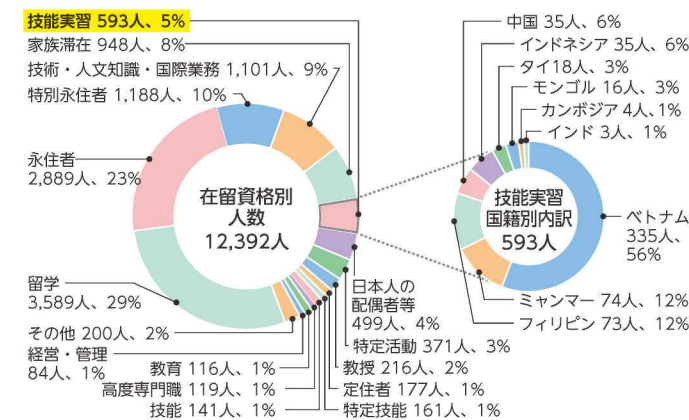


図3 仙台市における外国人住民の在留資格別人数と割合 (令和4年4月30日現在)



多言語メールマガジン SenTIA MAIL

外国人住民に役立つ生活情報や災害時の情報を、6言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）で届ける無料メールマガジンです。ぜひご登録ください。

登録はこちらから▶ https://int.sentia-sendai.jp/j/activity/mailmagazine_form.html



『仙台生活便利帳』をご活用ください

『仙台生活便利帳』は、区役所での手続きや子育て、病気になったときのことなど、外国人住民が仙台で生活するための情報を6言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語）でまとめたものです。仙台多文化共生センター（裏表紙参照）や区役所で配布しているほか、右記QRコードからウェブ版をご覧いただけます。

<https://int.sentia-sendai.jp/foreigner/>



てほしいと考えています。会社としても、今後は様々な国から実習生を迎えるつもりです。彼らの共通語を日本語にすることで、日本語力の向上も目指しています。担当者は、実習生の仕事や生活の様々なサポートを親身に行い、これからは実習生が相談しやすい環境づくりに配慮したい、と話してくれました。

介護老人保健施設コスモスでは、その国の発展を担うための人材育成に寄与しようと、昨年からは技能実習生の受入れ

を始めました。初めての実習生受入でしたが、ベトナム人の3名は現場での配慮が細やかで、とても頑張っているそうです。生活面では、仙台で二十歳を迎えるにあたって、日本の成人式で振袖を着る体験をしてほしいと考え、そのために貯金することを提案。成人の日に合わせて、振袖姿の写真撮影することができました。コロナ禍においても、日本の伝統的行事や文化に触れたことは、3名にとって仙台で忘れられない思い出の一つになったことでしょうか。

語ガイドブック『仙台生活便利帳』を配布しています。そのほかにも、『市政だより』について、特に外国人住民に大切な情報を、これまでの英語・中国語・韓国語に加え、10月からは新たにベトナム語・ネパール語でも仙台市のウェブサイトに掲載します。

友人を作り、仙台を好きになって帰国してもらいたいものです。帰国後、日本で学んだ技術を生かして、母国で起業する方や、日系企業でリーダーとして活躍する方、日本に関わる仕事をする方が多くいます。日本の仕事の考え方や知識、価値観や生活様式の違いなどを身につけた実習生の皆さんが、母国の発展のために活躍するとともに、日本の理解者として、両国の懸け橋になることを期待しています。

仙台で働きながら技術・技能を学ぶ若者たち

ベトナム人技能実習生座談会

コロナ禍の入国制限で一時的に人数が減少したものの、仙台で働く技能実習生は今後増加するものと見込まれます。仙台の技能実習生の半数以上がベトナム人です。今回は仙台で実習するベトナム人3名に、仕事や仙台での生活、将来の夢について話を聞きました。

「仕事の内容を教えてください。また、仕事をしていて大変なことや、楽しかったことはありますか。」

トウアン 体力を使う大変な仕事です。日本人とベトナム人とチームで働いていますが、コミュニケーションは上手く取れていて、困ることはほとんどありません。**トウイ** 高齢の利用者の方のできないことをお手伝いする仕事です。利用者さんと折り紙などをして交流するとき、とても楽しいです。利用者さんからいつも「ありがとう」と言われて嬉

しいです。実習が終わってもベトナムに帰らないで、ここにいて」と言われます。大変なこと、日本語です。私の仕事は介護ですから、日本語が一番大事です。利用者さんと話すときも仕事の説明のときも日本語ができませんといけません。

フン キャベツを切ったり、ニンジンの皮を剥いたりしています。工場で働いています。仕事で一番困っていることは日本語で、まだ慣れなくて大変です。毎日、仕事が終わったら家で日本語を勉強しています。

「日本人の同僚とは、コミュニケーションを上手く取れていますか。仕事や生活面でわからないことや困ったことがあったときに相談できていますか。」

トウアン 今のところ、相談しなくても大丈夫です。実習生の先輩が教えてくれて、自分で解決できています。ベトナムの家族

ともオンラインで時々話すので、あまり寂しくはないです。

トウイ 日本語がまだ上手くないので、わからない言葉や仕事のことを日本人の同僚が教えてくれます。難しいこともありませんが、皆が教えてくれるので大丈夫です。

フン 日本語は難しいですが、会社の人が親切でいると教えてもらっています。

「仙台での生活の感想を教えてください。仙台の気に入っているところや、逆にベトナムと違って困っていることはありますか。」

トウアン 仙台は冬が寒くて大変です。ベトナムでは雪が降らないので、仙台で初めて雪を見ました。雪道を運転するのが滑って怖かったです。寿司が好きなので、職場の同僚と食べに行きました。とてもおいしかったです。普段は、ベトナム料理を自炊しています。食事や買い物などでも特に困ることはなく生活できています。日本語学習などの職場のサポートもあり、満足して仕事や生活をしていま

すが、仕事が忙しく、なかなか遊ぶ余裕はありません。

トウイ 仙台は寒くて雪もたくさん降るので、出勤のとき大変です。でも、光のページェントを見に行き、とても楽しかったです。点灯する瞬間を見られてとてもきれいでした。他の実習生と一緒に寮に住んでいます。スパーも自転車で行くことができる距離にあるので、買い物には困りません。ごみ出しや自転車の乗り方などのルールは、仙台に来た最初の人に教えてもらったので、問題ありません。

フン 仙台の海と大観音が好きです。生活面では、他の実習生と一緒に寮に住んでいます。ごみの分別が難しいです。
「ベトナムに帰国後の将来の夢はありますか。」

トウアン 今建設の仕事の勉強をしているので、ベトナムに帰っても、建設の仕事をしたいと思っています。

トウイ 将来は日本語の先生になりたいです。介護の仕事で日本語に接するうちに、日本語に関する仕事、日本語の先生に興

味が湧きました。でも、漢字の読み方や、漢字・ひらがな・カタカナが混ざった文章を読むのがとても難しいです。

フン 技能実習の5年間で終わったら、帰国して果物を売る八百屋さんをしたいです。帰国したら早く結婚してお店を開きたいです。

「皆さん仕事が忙しいと思いますが、日本にいるうちにやりたいことはありますか。」

トウイ 富士山に登りたいです。そして、日本中を観光したいです。

トウアン 私も、富士山に登りたいです。あと、沖縄へ旅行に行きたいです。
フン 東京に行つてみたいです。



レー バン トウアン さん

来日3年目の技能実習生。日本ホーム株式会社にて左官の実習中。クワンガイ出身。母国でも建設業に従事した後、来日。会社のベトナム人社員向け日本語講座で中級クラスを受講中。好きな日本食は寿司。



ブイ ティ トウイ さん

来日2年目の技能実習生。介護老人保健施設コスモスにて介護の実習中。ティンホア出身。母国で高校を卒業後、送出国で日本語と介護の学習を経て来日。休みの日に市内の日本語講座に通い、日本語のスキルアップ中。



ヴォン チー フン さん

来日1年目の技能実習生。2022年4月来日。株式会社舞台ファームにて惣菜製造の実習中。ハノイ出身。日本の文化や生活習慣が好きで、来日を決意。来日前に日本語の学習を始め、現在も勉強中。

技能実習制度

技能実習生の受け入れ方は、日本企業が単独で現地人材を受け入れて実習を実施する企業単独型と、管理団体が受け入れ、その会員企業などで実習を実施する団体監理型の2つ。日本では、団体監理型で9割以上の実習生を受け入れています。

在留資格	実習期間	仙台市における人数 (令和4年4月末現在)
技能実習1号	1年目	14人
技能実習2号	2年目、3年目	504人
技能実習3号	4年目、5年目	75人



仙台で活動する外国人コミュニティや
多文化共生・国際交流団体を紹介します

ライフ・アテンド みやぎ (LAM)



活動中の様子。経験豊かな行政書士が相談に対応する。

ライフ・アテンドみやぎ(LAM)は、2015年に結成し、外国人の在留資格の手続き支援を主な活動としています。

普段の活動は、外国人からの相談を受け、在留資格の変更手続きや就労資格の申請の手続き、家族の呼び寄せなどの申請業務が中心ですが、多くの外国人が在籍する専門学校や外国人を雇用している企業からの相談などにも対応しています。隔週火曜日には多文化共生センターにて「在留資格の無料相談会」を開催しています。

コロナ禍で企業の体力が続かず、仕事を失って苦しい体験をした外国人もいます。また在留制度も目まぐるしく変化しました。これらの問題を出入国在留管理局からの情報で読み解き、時には直接確認するなどして答えを導き、サポートしています。

ライフ・アテンド みやぎ (LAM)

7名の行政書士で構成する団体。メンバーは、外国人の在留資格申請等に取り組んでいる経験豊かな行政書士。隔週火曜日15:00~17:00、仙台多文化共生センター研修室で無料の相談会を実施。詳しくは、SenTIA国際交流・国際協力団体検索サイト (<https://int.sentia-sendai.jp/cgi/dantai/index.cgi>) を参照。

代表の山川さんは、「私たちは、在留資格に対してプロであり続けることが外国人サポートの第一歩につながると思っています。異国で頑張っている外国人にずっと日本に住んでほしい。住みやすくなり、日本をもっと好きになってほしい。共に生きていく仲間として、『行政書士』として、できる手伝いをこれからも継続していきます」と話してくれました。

日本語を母語としない 小中学生のための 夏休み教室

日本語力の不足やそれに伴う学習の遅れなどがある、外国につながる子どもの支援を行います。SenTIAが関係機関と連携し、毎年8月に開催しています。学習に加え、工作など子どもたちが楽しめる活動を行います。



日本語教室で、教科書の音読をしています。すらすら読めるようになると、教師までうれしくなります。

仙台市立幸町小学校は、特色ある教育活動として、伝統文化教育に取り組んでいる学校です。
本校の日本語教室は、日本語を指導するための教員が1名配置されており、外国籍の児童や日本語以外の言語を母語としている児童5名への指導を行っています。指導形態は、日本語教室への児童の取り出し指導と、教室への教師の入り込み指導の2つがあり、週20時間程度の指導をしています。
通級している児童の中には、通常の授業で発言することに不安を感じてい

る子がいますが、日本語教室に来ると「先生、あのね…」と自然に会話が弾みます。分からない日本語があるときには、翻訳機や辞書、本で調べ、語彙を増やしています。安心して学習に取り組める環境があることで、児童の達成感や自己肯定感につながると感じています。
日本語教室について子どもたちに尋ねると、「心が落ち着く」、「勉強が分かって楽しい」と話してくれました。今後も、日本語教室が児童にとって心の居場所の一つとなるよう温かく支援していきたいと思っています。

外国につながる 子どもたち



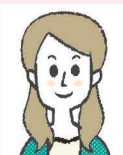
多様な子どもたちが学ぶ学校の様子を現場の先生に伝えてもらいます

幸町小学校 日本語教室 (その1)

たかはし みき
高橋 美紀 教諭

仙台市立幸町小学校勤務10年目、日本語教室の指導は4年目。

趣味は登山、手芸。好きなことは、お菓子作り。



仙台ではたらく



シンビリ アグネスさん/ケニア出身。スラムの子どもたちの学校「マゴソスクール」卒業生。2021年立正大学社会福祉学部を卒業し、現在若林区の多世代複合施設アンダンチ内のアスパナビないの里に勤務。

子どもの頃、スラムにある学校「マゴソスクール」を訪れる日本人の優しさに触れ、日本の福祉や文化に興味を持つようになりました。今はアンダンチで病气や障害を持つ子どもたちのサポートをしています。

13歳ぐらいいから、障害のある子どもたちのサポートに興味を持ち始め、その後日本に留学しました。大学では特別支援教育と社会福祉の勉強をしました。大学を卒業後、アンダンチを運営する「未来企画」代表の福井さんに「仙台でも障害を持つ子どもをサポートする仕事ができますよ」と誘ってもらって仙台で働き始めました。

アンダンチは皆が温かく、アットホームで働きやすいです。大学で学んだことを実際に生かすことができ、毎日新しいことを学びながら楽しく働いています。

夢は、ケニアに障害のある子どもをサポートする施設を作ることです。興味のある日本人がケニアに来て、見学したり交流したりできるようにになったら嬉しいです。



子どもたちと国旗のクイズ

子育てせんだい



アリーセ ドンネレさん/ラトビア出身。仙台での暮らしは10年目。留学生時代はお地藏さんを研究。丁寧に扱われているお地藏さんに出会うと嬉しくなる。

2012年、東北大学の研究生として来日しました。当時は、SENTIAの事業に協力する交流委員として2年間活動もしました。2018年に卒業後、東北学院大学で英語を教えています。その間、同じラトビア出身の夫も来日し、娘を授かりました。今は3人で仙台で暮らしています。

外国での子育ては、出産や保育園の手続きなど難しいこともあり、母国にいる友達に相談できないこともありました。日本にいる周りの友達や口コミなどいろいろな情報に助けられました。

小学校にあがると準備物も多く大変でした。例えば、道具袋の紐の長さなどは細かい指定があります。なぜその長さでなければいけないのかわかりません。このように疑問に思うことも時々ありますが、いろいろの人に教えてもらいながら覚ええました。

娘は今8歳で小学校3年生になりました。料理やお絵描きなど、できることが増えているのと同時に、性格や興味で自分とは違う一人の人間の成長を見られるのが嬉しいです。



私よりも性格が明るい愛娘と

留学生サポートの現場から



渡部留美(わたなべるみ)さん/香川県出身。東北大学グローバルラーニングセンターにて留学生の受入れ・支援業務、学内の国際交流、国際共修授業などを担当。仙台のグルメを探索中。

2017年に仙台に来るまで神戸、大阪、名古屋に住んだことがあります。日本国内でも地域によって、気候、ことは、食べ物からエスカレーター的位置(ー)まで異なります。地方から関西の都会に出てきた当初は、路線が何本も通っていたり、高級外車がたくさん走っているのを見ては軽いカルチャーショックを受けていました。日本人でもこのような状況ですから、海外から日本にやってくる留学生はさらに大きな経験をするのではないのでしょうか。

東北大学には2千人以上の留学生が在籍しています。彼らの留学生生活を支援するための取り組みの一つとして、4年前に「留学生ヘルプデスク」を立ち上げました。デスクに座るのは留学生と国内学生から成る先輩学生スタッフです。スタッフは皆、留学生をサポートしたい、という熱い思いを持って、留学生から寄せられる質問や相談に対応しています。サポートを受けた留学生が先輩となり、また新入留学生のサポートをする、というループが出来つつあることは嬉しいことです。



6月から対面での支援を再開した留学生ヘルプデスクと学生スタッフ

CIR通信 Vol.3 多文化共生講座／ありがとう仙台！

仙台市国際交流員（CIR）がSenTIAで携わっている多文化共生事業について紹介します。

今回は
ページから
紹介します！

CIR ページ

ニュージーランド出身。
在仙5年目。日本滞在は7年目。
お菓子作りとサイクリングが好き。



CIR タイラー

アメリカ・フロリダ出身。
来日4年目。
登山やトレッキングが好き。



※国際交流員（CIR：Coordinator for International Relations）
JETプログラム（政府の外国青年招致事業）で来日し、自治体の国際交流担当部局等で国際交流や多文化共生事業に携わっています。
仙台市には現在、2名のCIRがいます。

国際交流員卒業間近のページが、今回は多文化共生講座について紹介したいと思います。私は、業務の一環として日本語を母語としない方とのコミュニケーションをより円滑にするための多文化共生講座に参加してきました。

多文化共生講座では、多文化共生に関する基本的情報や考え方とともに、日本語を母語としない方への対応方法のひとつ「やさしい日本語」についての説明や、相談機関・制度を紹介します。“優しい”気持ちを持って、相手に分かりやすい“易しい”日本語を使うことで、日本語を母語としない方に寄り添うことができます。例えば、行政機関を訪ねるときは聞きなれない言葉にストレスを感じてしまいます。ここで「やさしい日本語」の出番です。講座で行う外国人講師とのロールプレイでは、「やさしい日本語」での会話を通して、参加者の緊張感や不安が解消されていき、徐々に賑やかになり、みなさんが自信を持つようになった様子が見られました。

やさしい日本語は日本語を母語としない方とのコミュニケーション手段としてとても有意義です。仙台市では日本語学校や専門学校に通っている、特に非英語圏の留学生が多いです。機会があったら笑顔を忘れず、ぜひやさしい日本語で声をかけてみてください。

仙台市で約5年間国際交流員として働き、仙台市の良さを実感しました。仙台市民のみなさんや職員のみなさんと様々な交流ができ、素敵な思い出を作ることができました。今までに出会った方々に変感謝しています。みなさん、またどこかでお会いしましょう！

※記事は2022年7月に執筆



多文化共生講座では「やさしい日本語」で外国人講師とのロールプレイを行った。

SenTIA サポーター（国際化事業部 賛助会員）募集中！

言葉や文化の違いをこえて、誰もが生き生きと暮らせる「多文化共生の地域づくり」に向けて、皆様からの支援をお待ちしています。事業にご賛同いただける方は、どなたでもお申し込みいただけます！

会員の種類/会費（年度ごと）

学 生 / 1口 500円 個 人 / 1口 1,000円
市民団体 / 1口 2,000円 法 人 / 1口 5,000円

賛助会費は、SenTIAの外国人支援事業に使わせていただきます。

法人会員のご紹介

● EZY外国語

アジアの言語の外国語教室や留学生向けの日本語教育、その他、企業や、学校への外国語講師派遣・医療通訳なども行っています。また、様々な文化イベントを通じて、多様な環境や価値観を持つ仲間との相互理解を深め、国際社会において活躍できる人材養成を目指しています。

申込方法等については、
ウェブサイトをご覧ください。
市民団体・法人会員のサポーターも
紹介しています。

<https://int.sentia-sendai.jp/j/activity/supporter.html>



2022年度

新規登録の市民団体会員のご紹介

- NPO 法人 仙台城ガイドボランティア会
- 東北日韓友好交流連合会（TOFA）

仙台多文化共生センター をご利用ください

TEL 022-224-1919



仙台多文化共生センターでは、仙台に暮らす外国人住民の相談に多言語で対応しています。地域や学校、公的機関等からの各種相談にも応じています。お気軽にご利用ください。



通訳サポート電話 TEL 022-224-1919

3者間通話ができる電話を使って外国人住民への生活情報の提供と、通訳によるコミュニケーションのお手伝いをします。区役所・市民センター・保育所・学校などで、外国人住民とのコミュニケーションでお困りの際にご利用ください。(商用利用はできません)

対応言語 英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、イタリア語、フランス語、ドイツ語、マレー語、クメール語、ミャンマー語、モンゴル語、シンハラ語、ベンガル語、ヒンディー語、ウクライナ語

外国語による相談対応

外国人住民の日常生活での困りごと、悩みごとに、外国語で対応します。スタッフが英語・中国語で対応します。その他の言語については「通訳サポート電話」で対応することがあります。中国語・韓国語・ベトナム語・ネパール語は、相談員がそれぞれ週に1~2回、仙台多文化共生センターで直接相談に応じます。

外国人のための専門相談会

在留資格、法律、仕事で困っていること、行政手続き、税金などについて、専門家に相談できます。事前申込が必要です。通訳も無料で申し込めます。詳しくはお問い合わせください。

2022年10月以降の予定 時間はすべて1:00 p.m. - 4:00 p.m.

※開催日が変更になることがあるので、ウェブサイト(右側のQRコード)を確認してください



仙台出入国在留管理局	仙台弁護士会	宮城県行政書士会	宮城労働局	東北税理士会
毎月第4金曜	毎月第2金曜	毎月第1土曜	奇数月の第3木曜	2022年 12月14日(水) 2023年 3月22日(水)

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地 仙台国際センター 会議棟1階
 毎日9:00 a.m.~5:00 p.m. (月に1~2日程度の休館日を除く)
 TEL: 022-265-2471
 FAX: 022-265-2472
 E-mail: tabunka@sentia-sendai.jp

仙台多文化共生センターは、仙台市の委託を受け、
 (公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA) が運営しています。

